



ALSO プロバイダーコース in 高知医療センター

◎ALSO(Advanced Life Support in Obstetrics)とは、医師やその他の医療プロバイダーが周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するためのシミュレーション教育コースです。1991年にACLSとATLSに基づいてウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican academy of family physicians(AFFP, 米国家庭医学会)によって認可され、現在、全米ではほとんどの分娩施設において分娩に関わるプロバイダーがALSO受講を義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%がALSOをプログラムに導入しています。更にALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに63カ国でプロバイダーコースが開催され、16万人がALSOコースを受講しました。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以後、約7000名がALSOコースを修了しています。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、麻酔科医、助産師、そして医学部学生などです。高知県では4年ぶり、2回目の開催です。

◎コースの内容はレクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれています。

レクチャー: 妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、マタニティケアにおける安全性

小グループによるワークショップ: 肩甲難産、胎位・胎向異常、吸引分娩、分娩中の胎児心拍モニタリング、症例検討

◎プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、5年間有効の世界共通の認証を受けることができます。

◎産科救急医療は、ハイリスク症例が増加し、もはや産婦人科医だけでは対応困難な状況になっています。本コースでは妊婦蘇生だけでなく、周産期医療の幅広い知識を修得し、個人のスキルアップを目指します。また、チームSTEPPSを基本としたチーム医療のあり方も学ぶことができます。

◎本コースは高知新聞・高知放送公益信託「生命(いのち)の基金」の補助事業です

ALSO プロバイダーコース in 高知医療センター

主催：高知県高知市病院企業団立高知医療センター総合周産期母子医療センター

共催：NPO 法人周産期医療支援機構

場所：高知市池 2125-1 高知医療センター研修室（1 階）他

日時：平成 30 年 7 月 14 日（土）8：00～18：30（予定）

7 月 15 日（日）8：30～17：00（予定）

定員：30 名 高知県内の周産期医療施設に従事の方が対象（県外の公募はありません）

受講料：35,000 円（ALSO 登録料、2 日間の昼食代を含む）

申込先：syusankicenter@khsc.or.jp

申込方法：上記 E メールアドレスに件名「ALSO 受講希望」、本文に下記必要事項を記し
お申し込みください。

- ①氏名 ②氏名のよみがな ③氏名のローマ字表記 ④所属病院 ⑤診療科
- ⑥役職 ⑦職種 ⑧卒業年度（西暦）
- ⑨現住所 ⑩携帯電話番号（当日連絡がつくもの）
- ⑪メールアドレス（PC メールアドレスのみ）

お問い合わせ先

〒781-8555 高知市池 2125-1 高知医療センター

公式HP <http://www.khsc.or.jp/>

TEL 088-837-3000 FAX 088-837-6766

担当 経営企画課 井上・大倉

E メール syusankicenter@khsc.or.jp